



毎年恒例の春のサーキットグランプリ大会のひとつ、ゴールデンゲームズinのべおかが開催されました。この大会では、トラック周辺に応援用の看板が設置されており、観客がそれを専用の棒で叩きながら声援を送る、独特の応援スタイルが見られます。さらに、場内アナウンスからも選手へ声援が送られて、会場全体が非常に盛り上がる大会として知られています。そんな大会に鈴木樺連選手と矢内楓恋選手の2名が出場しました。C組の鈴木樺連選手は落ち着いたレース運びで集団のペース変動にも対応し、ラスト1周まで先頭集団でレースを展開しました。前回のレースを約9秒上回る記録で、順調に調子を上げてきている走りを見せました。D組に出場した矢内選手は、前半に先頭集団でレースを進め、1000mを過ぎて少しずつ遅れ始めましたが、中盤から後半にかけては何とか粘り、次につながる内容の走りとなりました。

日本グランプリシリーズ
延岡大会
第37回

5/4月・祝

ゴールデンゲームズinのべおか



鈴木樺連選手

女子一般 5000mC組 **4位** 16分12秒29

4/25の日体大競技会から連戦となった今回の大会は、以前から相性の良い大会で、状態も悪くない感覚だったので、9月に開催される全日本実業団選手権大会の参加標準記録である16分05秒切りを目標として挑みました。

風が強く、思っていたよりもコンディションは良くありませんでしたが、前回よりもタイムを縮めることができ、走りとしてはまずまずとめられたと思います。

ただ、前回同様に中盤で余裕があったにもかかわらず、なかなか前に出ることができなかったことや、後半にタイムが落ちてしまったところは課題として、これから練習の中で改善していこうと思っています。

ライブ配信を見ながら応援してくださったり、頑張ってきてねと声をかけてくださったりした皆さま、本当に応援ありがとうございました。さらに上をめざして頑張っていきます。





矢内 楓恋 選手

女子一般 5000mD組 **8位** 16分45秒13

今シーズン 2 回目の 5000m では自分が考えていたよりもタイムが思わしくなく、不甲斐ない走りとなってしまいました。最近の練習ではなかなか動きがまとまらなかったり、スピードを出す感覚が噛み合わなかったりすることが多く、自分の走りを見失ってしまっているの、1 日でも早く感覚良く走れるように日々のトレーニングに励んでいきます。大会当日はたくさんの応援ありがとうございました。



応援ありがとうございました!

